

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	Kings Oxford 英語研修
------------	-------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	76,400 円	自炊:15,000 外食:61,000
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	13,000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩 25 分)※バスだと片道£2.00
教養娯楽費	3,700 円	施設などの入場料・学校のアクティビティ代
被服費	6,000 円	Oxford University のスウェット購入
雑費	0 円	
その他	65,000 円	交通費:25000、お土産代:40000
合計	164,100 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発の際に空港で 8000 円程度を£40 に両替した その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
キャッシュレス決済が基本だったので、クレジットカードが 1 番役に立った。 現金が使えない店もあったので、現金に関しては、ロンドンの老舗デパートなどで買い物する際に、なるべくお釣りが出ないように使用した。 現金を多く持ってきていた友達(日本円で 3 万円程度)は、どこで現金を使い切ろうか悩んでいた。(結局、同じロンドンのデパートなどで使い切っていた。) クレジットカードに関しては、基本 1 枚のカードを使い続けていたが、たまにバスの支払いでエラーが起きてしまったので、複数枚持っていた方が安心だと思った。 やはり AMEX だと使えない場所も多かったので、VISA か Master をそれぞれ持っておくべきだと思う。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
docomo の「世界そのままギガ」というものを利用していた。料金は 3 週間まで 13000 円程度かかったと思う。 SIM に比べるとかなり高いが、オックスフォードやロンドンなど、どの地域にいても基本的に問題なくインターネットを利用できた。 周りの友達はほぼ全員が SIM だったと思う。ただ、ある人はロンドンに着いた際に SIM が突然ロックされてしまって一時的にスマホが使えなくなってしまったり(すぐ復活していた)、別の人はデータ通信が弱く、Wi-Fi の繋がる所でないとネットが使えず、LINE などのやり取りができなくて少し困っていた。もちろん、SIM 交換で問題なくスマホを使っている人もいた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
1. 調味料 ・基本的に自炊するつもりだったので、調味料があつて助かった。 ・同部屋の友達が持ってきたものと合わせて、麺つゆ、醤油、塩やガーリックソルトなどがあつた。 ・麺つゆや醤油は日本の味付けをする際に大活躍だったし、ガーリックソルトも使い勝手が良く野菜炒めやリゾットの味付けなどで使用してすぐ無くなったので、持って行って良かった。 ・徒歩圏内にアジアスーパーもあるらしく、そこではうどんなどの麺や、麺つゆなどの調味料があつた。(価格は、麺つゆ 340ml で £3.30 だった)
2. のど飴など ・機内での酔い止め代わりやのどの乾燥防止ではもちろん、現地で風邪になった際に大活躍だった。
3. 風邪薬や喉の痛みに効く薬 ・同室の友達 2 人が 1 週目にかなりひどい風邪を引き、1 週間程度は咳や喉の痛みで辛そうだった。 ・友達が自分で持ってきていた薬と、私が持って行った薬(3,4 日程度)の全てを使い切るくらいだった。 ・現地で風邪薬をもらいに行こうとしていたが、その程度だと病院では薬を出されないの自分で用意して持って行った方が良かったと思った。(風邪を引いた友達は普段減多にひどくならないタイプなのに…と話していた。)
3. キッチン用品 ・スポンジ、食器用洗剤、食器を拭く布巾を持って行った。

- ・洗剤は現地スーパーにもあった気がするが、スポンジや布巾らしきものはあまり見かけなかった。
- 4.ハンガー
- ・乾燥機 1,2 時間かけても乾かない服が何着もあり、室内干しの際に利用していた。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

- ・滞在中にかなり大規模なデモがイギリスの様々な地域で起きており、オックスフォードの中心地でも抗議活動が行われた日があったが、それに関する情報は語学学校側が Teams などでも随時連絡してくれた。
- ・上記に関する情報を、LINE ニュースや Xなどで調べて見ていた。
- ・スリに関しては、ロンドンに行く際にあらかじめ発生の多い地域や状況を調べておいた。
- ・1 人行動がほとんどだったが、できる対策は行い、日が落ちる前に帰り始めていたからか、問題なく過ごせた。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

- ・基本的には問題なく使用できた。
- ・場所によっては通信が弱く、ネットが使えない時もあった。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 3人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

- ・Steven Close という寮に滞在した。部屋は綺麗だった。調理器具(鍋・フライパン・食器・包丁やまな板など)はすごく綺麗ではないけど汚いわけではないので、最初は少し抵抗がありつつも、すっかり気にせず使用していた。器具セットの中に布巾も入っていたが、使用感はあるので自分が持ってきたものを食器拭きに使い、寮にあったものを台所や机を拭く用にして使い分けた。
- ・初日に現地に住む日本人の方から簡単に寮の説明があった。また、管理人の方(イギリス人)は朝から夜頃までいたので、何かあったら質問できる状況だった。
- ・周りは静かな住宅地なので、1 日を通して静かに過ごせる環境だった。街の中心地や学校までは徒歩 25 分くらい。中心地にはスーパーも揃っているので問題なく生活できた。(寮の目の前にはバス停があり、頻繁に運行していたが、徒歩で問題なかったため、ほぼ使わなかった。)
- ・寮にネコがいて、とても可愛かった。滞在している日本人みんなそのネコの虜になっていた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

1 クラス 15 名と、多過ぎず少なすぎずの人数だったのが、ちょうど良かった。若干私のクラスだけ日本人が固まってしまったのは残念だったが、それでも色々な国の人と話す機会があつて楽しかった。

2)課外プログラムについて

- ・現地の学校が放課後にはほぼ毎日アクティビティを実施していた。オックスフォードカレッジツアーや週末のロンドンツアー、スポーツやゲームなど、有料のものもあれば、無料のものもあった。
- ・バンティングというアクティビティに参加したが、これが 1 番人気そうだった。快晴の中ボートに乗って1時間くらいのんびり過ごし、楽しかった。

3)現地での生活に関すること

- ・オックスフォードは、治安面や衛生面に関して心配することは無く、日照時間も長いので 20 時頃までは外も明るく安全に過ごせた。街並みが The ヨーロッパな雰囲気なので、散歩するだけで楽しかった。もちろん、クライストチャーチやニュー・カレッジなど、歴史的な魅力の詰まった見所も沢山あり、3 週間の平日を使ってオックスフォードを満喫した。パブやバー、カフェはどのお店も雰囲気があり、店内にいるだけでも楽しく、料理もすごく美味しかった。

・ロンドンまではバスで 2 時間だが、高速バスのようなものなので寝ながら移動できて快適だった。滞在中に休日は 4 日あったが、3 日はロンドンに出かけた。1 日はコッツウォルズのバーフォードに行った。バスを乗り換えて 1 時間半程度で行けて、ロンドンやオックスフォードとはまた違った雰囲気を楽しめた。他の友達も、コッツウォルズのバスに行ったり、ウィンザー城に行ったりしていた。

・学校のクラスは 15 人近くいて、想像していたよりも多かった。私のいたクラスは半分がヨーロッパ、半分がアジア(主にトルコ・日本)という編成だった。授業内ではペアワークやアクティビティが多いので、他の国の人と話す機会は沢山あった。個人的には、会話のタネのためにも、もっと色々な国に関して知識を持っておくべきだったと少し後悔した。また、休み時間中にお菓子などを食べる人も多く、私も自分が日本から持ってきたグミをあげたりすることで交流できたので、日本の気軽に食べられるお菓子を持って行ったら、会話のきっかけになると思う

・寮生活なので、部屋では自分の時間を過ごせてちょうど良かった。程よく 1 人の時間を楽しみ、程よく同部屋の子とはしゃぎ、個人的にはバランスの良い生活だった。自炊は大変かと思っただが、協力しながらカレーやシチュー、パスタやリゾットなどを作って、ちゃんと野菜の摂れる食事ができた。友達の案でタコスパーティーをしたのがとても楽しかった。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

・オックスフォードの学校に通う学生と関わる機会はなかった

・同じ語学学校に通う海外の人とは、授業の合間に話したり、一緒に昼食を食べたりした。周りの日本人の友達も、一緒にアフタヌーンティーに行ったり、オックスフォード市内を散歩したり、Instagram の dm で連絡を取っていたりと、海外の学生との交流を楽しんでいた。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

・学校側が主催するアクティビティでは、同じクラス以外の海外の学生と出会える機会があった。私はパンティングというアクティビティに参加したが、その際に他クラスの生徒と話せた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

・ともかく海外の人は「話す能力」に長けていること。

留学を通して、英語力よりも、自分の考えをまとめるスピードや会話のタネを見つける力、知っている知識の少なさに対して力不足を感じた。私は英語に関してリスニング力とスピーキング力は皆無だったので、授業について行くのはかなり大変だったが、「英語が話せないから聞き取れないから」というよりも、例えばディスカッションのテーマに対して発想・思考力や言語化のスピードが弱いから、「なかなか思うように話せない・ついていけない」と思った。私とは反対に、海外の学生は自分の意見をまとめるのがともかく早く、またその意見もしっかりと厚みのあるものだった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この 3 週間は振り返っても夢のように思える毎日で、間違いなくかけがえのない経験と思い出になりました。日々オックスフォードの街を歩き、週末にはロンドンやコッツウォルズに行ってもまた違った土地を楽しみ、ともかく毎日が新鮮でした。オックスフォードに関しては、案内できるくらいには詳しくなりました。

留学が初めてで、日頃から英語を話したり、海外の人と関わる機会が全く無かったので、学校は緊張しましたが、楽しく 3 週間通うことができました。先生にわからないことを質問すると、丁寧に教えてくれました。

誰も知り合いがいない中参加しましたが、一緒に滞在する日本人の子達とはすぐに仲良くなれましたし、留学が終わった今も連絡を取り合っています。海外の子とも、沢山話して、写真を撮って、ご飯を食べて、楽しく過ごせました。

もし、英語力に自信がないから留学を躊躇っている人がいたら、恐れず挑戦してみてください。私は全く英語が話せませんし、聞き取れません。留学前は就活や期末テストに追われて英語の勉強を全く手につけず渡航しました。英語ができない分、周りよりも苦労することは多かったですが、何とか乗り越えます。ぜひ挑戦してみてください。最高の夏が待っているはずです！！

今にでも戻って、あの 3 週間を過ごしたいと思うくらい、幸せな時間でした。きっとまたイギリスに来た際には、オックスフォードに遊びに行く気がします。そのくらい素敵な街で、思い入れができた場所です。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	個人渡航型夏季短期研修サイモンフレーザー大学プログラム
------------	-----------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	25,000 円	外食、カフェ、軽食
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	5,000 円	SIM
現地通学費	15,000 円	(研修先まで 50 分) 1か月定期券購入
教養娯楽費	20,000 円	移動費、入場料
被服費	25,000 円	事前に聞いていたより寒かったため暖かい服を購入
雑費	30,000 円	お土産、日用品
その他	円	例:
合計	120,000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか**
- 現金の用意方法: 両替所で 30,000 円分をカナダドルに両替
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください**
- 現金のみのところは少ないため、クレジットカードでほとんどの支払いができる。現金支払にすると、小銭の使い道が少ないため、クレジットでの支払いがおすすめ。
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。**
- SIM
カナダだけでなく、アメリカでも使える SIM を購入していたため、シアトルに行った時もそのまま使うことができた。
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか**
- 大きめの手提げを余分に持って行っていたため、帰りに荷物が増えた際にも預け荷物を 2 つに分けることができた。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)**
- なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？**
- 事前にエージェントのオリエンテーションで危険地域を把握した。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。**
- 場所によってつながりにくいことがあった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホストファミリーは優しく、食事もおいしかった。また、共用部分もほとんどなかったため、気を遣うことなく過ごせた。ホームステイはさまざまであるため、ルールや食事が合うかなど、家庭によって差は大きいと感じた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

ペアワークが多かったため、楽しく授業を受けられた。また、プレゼンもあったため良い経験になった。クラスが全員日本人であったため、英語で会話をする機会は少なかった。

2)課外プログラムについて

美術館やマーケットなど、実際に見たり聞いたりしながら学ぶことができてよかった。

3)現地での生活に関すること

カナダは多文化で、治安もいため、留学先としてとても良い国だと思った。現地の生活で困ったこともなく、快適に過ごすことができた。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

現地の大学は夏休み中であったため、特になし

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

カナダは移民の国であるため、街を歩いていてもいろんな人種の人がいると感じた。また、電車の中やお店で日本人も多く見かけた。文化や服装、食事など、様々な面で多様性を感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

学生の中に留学をしたかったため、就活や履修をほとんど終えた4年で留学をすることにした。1か月という短い期間だったが、とても楽しく、充実した生活を送ることができた。クラスメイトともとても仲良くなり、いい思い出をつくることができた。英語に関しては、短期であったことや周りの人がほとんど日本人だったこともあり、期待していたより上達はしなかったが、授業やホストファミリーとの生活を通して、留学に来る前よりは英語を聞き取る力や話す力がついたと感じた。また、英語に対するモチベーションが上がったため、今後英語を話すことができるようにもっと頑張ろうと思った。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	Kings オックスフォード英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約5万 円	自炊しなかったため高額になった
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	約4万 円	
被服費	約1万 円	思ったより寒かった
雑費	円	
その他	円	例:
合計	約10万 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意した物: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレカのタッチ決済
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Three の sim 低速になることがあった
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
レンジでできるお米、インスタントのお味噌汁。食費を抑えるためにも食べ物が多めに持っていきべき。 コンセントの変換プラグは2個以上持っていけばよかった

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
観光する際はチャックつきのウエストポーチを使用していた
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
Wi-Fiは寮も学校も問題なかった 先述したが、モバイルデータで低速になることがあった

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

自炊を普段しない人はインスタント系の食料を持っていくべき

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

先生たちはとても親身で、質問もしやすかった。ただ語学学校なのでネイティブスピーカーと話す機会はそれほど多くなかった。

2)課外プログラムについて

私はあまり参加しなかったがスポーツやツアーなど色々あった。プログラムに参加しなくても個人で観光するなどして楽しめた。

3)現地での生活に関すること

授業以外はフリーだったため、良くも悪くも自分で考えて行動する必要があった。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

授業中に会話し話せるようになった。ただ入れ替わりが激しいため深い仲になるのは難しい。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

インスタを交換した。友人はご飯にいていた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

お店に入った時に客側も挨拶すること、ホームレスがお店の前などに普通にいること

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

初めての海外で留学すること出発前はものすごく不安だったが、同じプログラムの子たちとこの助け合いながら、楽しい留学にすることができた。スーパーで買いものをしたり、現地での生活を体験できた。ロンドンに行ったり、観光もできた。勉強面は、英語の勉強をそこまでせずに出発してしまったため、最初全く聞き取れずすごく苦労した。出発前にリスニングだけでもやっておくべきだった。英語能力的にイギリスに留学するか迷ったが、本当にイギリスにしてよかったと心から思う。日本人と似た国民性のため、初海外の私もカルチャーショックを受けなかった。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	EF Boston
-----	-----------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45965 円	朝夜は寮のカフェテリアがあるが外食をする日もあった
図書費・学用品費	0 円	授業で使うテキストはもらえる
携帯・インターネット費	5780 円	Sim カード代
現地通学費	0 円	(研修先まで 0分)
教養娯楽費	15434 円	博物館など
被服費	0 円	上着など含めしっかり日本から持っていけば新たに買う必要はない
雑費	63946 円	お土産、自分の買い物
その他	25983 円	例: Uber ride, 電車, バスなど、遊びに行く際の交通費
合計	157108 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 親が保持していた現金を持参した。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジット
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
tabitsu sim を利用した。Wifi は現地の学校のものを利用した。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
現地のカップ麺は日本のものと味が違うため、アメリカに持ち込めるカップ麺は少し持っていけばよかった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
留学先をボストンに選択する際、アメリカの中で比較的安全な街を調べた。前提として日本より危険なため、単独行動はしない、パスポートなど大切なものは持ち歩かず寮に置いて鍵を閉めるといったことを徹底した。盗難被害には遭わなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
sim カードを飛行機の中で差し替え、現地空港到着時からスムーズに接続・利用できた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

EF の寮に関しては、夜遅くまで生徒と関われるラウンジがあるため、他国の生徒と関わりやすい。トイレ・シャワーは部屋ごとではなく全体共有なため、慣れるまでは少し不便。綺麗さは普通だが、日本と同じと思わない方がいい。キッチンは、電気ケトルと電子レンジしかない。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

授業は1コマ80分でしっかりあった。日本では、英語で英語を勉強する機会がないので、英語で英語が説明されているテキストがもらえる点は良いと思った。1クラスは多くても20人ぐらいで、スピーキングの時間が多いのも良い。クラスの友達と気軽に英語で話しやすいのも良い。今年は少し勉強していったためか、上のクラスに入れてもらえたため、クラスに日本人が少なかったのもよかった。ただ、日本人が少ない都市としてボストンを選んだものの8月は夏休み期間なため、寮全体としては日本人が多かったのは良くなかった点だ。

2)課外プログラムについて

EFではアクティビティという授業外のアクティビティがある。有料アクティビティには、ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学ツアー、現地で有名な観光地ツアーがある。大学ツアーでは大学の歴史や特徴など含めてガイドしてくれるためとても良い。無料アクティビティでも学校内でマシュマロを焼くなど楽しめ、生徒との交流も活発にできる。

3)現地での生活に関すること

物価はやはり高い。1)でも述べたが、夏休み期間は日本人が多少なりいるため、スピーキング力を本気で向上させたいといった目的があるなら、積極的に他国の生徒に声をかけ、日本人とは距離を保つ覚悟は持っていくべき。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

同じ時期に到着した生徒とオリエンテーション時に交流できる。クラスが同じ生徒とは仲良くなりやすい。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

クラスで仲良くなった子とは、View Boston、Museum of Fine Arts や Museum of Science などのミュージアムに行った。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

現地について3週間ほど経つと日本食が恋しくなる。日本と異なり電車やバスはしばしば遅延する。また、アメリカ人のフレンドリーさには驚いた。もちろん国民全体というわけではないが、エレベーターの中で初対面の人同士が天気についての会話をしていた際には衝撃を受けた。他にも、アメリカにはチップ文化があるところも、慣れるのが大変だった点だ。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回の研修を通して様々な国の生徒と交流した時間はとても貴重な時間でした。他国の生徒と仲良くなるということは、授業外でも英語で話す機会が増えるということなので、とてもよかったです。一方、夏休み中ということもあり、語学学校には日本人も多少います。アドバイスとして、どうしても日本語で会話するのは楽ですが日本人に流されないことが重要です。それからもう一つ、行ってから現地で英語を勉強するのではなく、事前に勉強してからいくことをお勧めします。リーディングではなく、リスニングやスピーキングです。上のクラスに入ることができれば日本人の割合は少ないからです。また、1ヶ月アメリカで生活したことで、日本の素晴らしさを再確認しました。最後に、私は今後の抱負として、英語の勉強を継続すること、そして今回の短期留学を踏まえて、来年は長期留学に挑戦しようと思っています。英語の勉強について具体的には、英語を日常から遠ざけないためにPodcastsを毎日聴く、ポキキャブラリーを増やすためにBBCニュースなどを読んでわからなかった単語をあぶり出す、などを徹底したいです。また、現地学生や外国の学生と交流を深めるために、日本についても留学先についても理解を深めていきたいです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10000 円	
現地通学費	3000 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	15000 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
合計	68000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で外貨両替を行った その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーから危険地域や防犯対策について聞いた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ESIM を利用したが特に問題はなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4 人)
3) 共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
とても良心的で、夕食の時間や休日の空いた時間によく話していた。子供がいる家庭だったので、コミュニケーションが図りやすかった。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

初日にテストを行いクラス分けするため自分にあったスキルの授業をうけることができる。
留学した時期が日本人の多い期間であったため日本人のみのクラスが生まれてしまい母国語で話す機会が多かった。

2) 課外プログラムについて

毎週木曜日にスポーツアクティビティ、金曜日にコンバーセッションアクティビティがありこの機会を通じて他クラスの学生と交流が生まれた。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

アジアの学生と休日や放課後出かけることが多かった。

2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

タイの学生が毎週土曜日にハイキングを行っており、仲良くなった後ピザパーティーやご飯を食べて過ごした。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バスから降りる際、乗客が運転手に感謝を伝える文化があること。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回が初めての海外研修だったが、ホストファミリーや現地の学生に恵まれ有意義な3週間で過ごすことが出来た。渡航する前は他国で生活することへの不安が大きかったが、数日間生活すると徐々に慣れ始め当初の不安はすぐに消えた。渡航した先の季節が冬であり、暖房やヒーターが日本よりも性能が高くないため寒さに耐えることが辛かった。この時期に渡航する際には、ヒートテックやダウンが必須であると思う。また、紫外線が強く近くの山や丘に登ると目を痛めてしまうので帽子やサングラスや日焼け止めを使う機会が多かった。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	LSI ポーツマス
------------	-----------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	24905 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2280 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩15分)
教養娯楽費	66158 円	バッキンガム宮殿、ウエストミンスター寺院入場料など
被服費	3811 円	
雑費	453 円	
その他	38783 円	例: ロンドンやオックスフォード、市内などの移動費(通学費とは別とする)
合計	136,390 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港、イギリスのゲームセンターでクレジットカードを用いて現金を用意 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほとんどクレジットカード 1 枚で事足りた。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM を用いた。日本では毎月4G のプランを利用している。イギリスでは合計5G 近く使用した。ホームステイ先と研修先で WI-FI を利用できた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ウェットティッシュ。飛行機内と、イギリスでの悪天候時はかなり冷え込むので上着が必須。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
渡航前にはインターネットを用いた。渡航中はホストファミリーや現地の友人、研修先の教師に聞いて回った。スリの話は聞いていたが、そのような経験をせずに済んだ。ポーツマス内は極めて治安が良いと言える。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ロンドンやブライトンなど人が密集する観光地では電波が届かなくなることが多かった。普段は問題ない。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

個人にお風呂が割り当てられていても、必ず使用可能時間を聞くべき。また、ご飯の量については必ず率直に伝えるべき。自分にとってはかなり多く、ホストファミリーに相談した。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

日本人同士で日本語を話さない限り、朝から晩まで英語生活を送ることが出来る。2 階には学生ラウンジがあり、卓球やビリヤードを通して多くの生徒と友人になることが出来る。
クラス分けはほぼインタビューで長く話せるかどうかにかかっている。初日にインタビューがある方はしり込みせず全力で臨むことをオススメする。

2)課外プログラムについて

滞在中はほぼ毎日参加したが、新たな友人を得る場として非常に効果的であった。また、初心者でも参加しやすいダンスプログラムなどもあり、英語のみならず知見を広げるのに役立った。

3)現地での生活に関すること

2024年は円安とイギリスの物価高が重なり、外食の連続は財布に多大なるダメージを与えた。TESCO や GREGGS などスーパーを利用すると良い。また、電車やバスの乗り換えでは GOOGLE や TRAINRAIL アプリが便利だった。なお、電車は日本とは違い、満員になるとそもそもホームが規制されて入れなくなることがあったため、時間に余裕を持って行動すると良い。また、これは最も重要なことであるが、トイレにウォシュレットはついていない。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

LSI ポーツマス学校の生徒とは毎日交流のチャンスがある。イギリスにある大学の学生と、という意味では、地域の店やサルサダンスといった LSI 生以外も参加する場であれば交流は可能だ。しかし、頻度はあまり高くはないと考えるべき。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

学校でできた友人とロンドンに出かけたり、ボーリングやカラオケをして楽しんだ。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

名前を聞かれたら、当然のように下の名前だけを答えること。フルネームを名乗ると不思議がられました。所属意識の違いが表れていたのかなと考えています。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

渡英前に発音記号を読むようにしておくことをお勧めします。

何年生であっても、円安であっても、行く価値のある研修です。迷っている方は是非一歩踏み出してみることをお勧めします。

なお、研修先で迷っている方はホームステイ付きの研修をお勧めします。常に英語を話す環境に身を置くことで英語をより身近に感じる事が出来ます。

一般的に人生において 2 カ月もの長期休暇を得る頻度は少なく、大学 4 年間はその内に含まれていると思っています。海外に行かないにしろ、是非何らかの形で記憶に残る時間を過ごしてください。

応援しています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	Kings オックスフォード英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約25000 円	基本自炊で数回だけ外食しました
図書費・学用品費	0 円	テキストはコピーで配られる形式。ノートも配布された。
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩 20 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	12000 円	着る服は持って行った分で足りたが、別途ほしい服を買ったため。
雑費	50000 円	お土産や自分用のお土産
その他	20000 円	例: ロンドンへの交通費など
合計	113000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発時に日本の空港で両替 その他用意した物: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的にどこでもカード決済が可能。カードしか使えないところも多い。また、コンタクトレス機能があれば交通機関がそのまま使えるので便利。数枚用意しておくのが安心。ただ、友達と一緒に支払いをしたあとと清算するため、そして万が一のため現金も多少用意しておくべき。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Sim カード。案内の中に入っていたものを利用し、飛行機の中で入れ替えた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
お米を10合と、袋で炊ける炊飯袋(100均のもの)。食費がかなり浮いた。また、具体的な生活をイメージして日本の 100 均で帰るものは準備していった方が節約できるし、現地で手に入れるより楽。 普段はあまり飲まないが、最後の数日体調を崩したため薬をもっと準備しておくべきだった。圧縮袋を忘れたのも失敗だった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ロンドンだとスリやひったくりに狙われやすいと聞いていたので、ウエストポーチを利用したり、スマホにチェーンを付けて対策したりした。特に危険な目には合わずに済みました。ただ、クラスメイトの中にはロンドンで危ない目があったことがあるという人もいたので十分対策はしておくべきかと。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
スーパーなど場所によっては市街地でも接続が悪かったが、大きな問題はなく使えた。ただ海外という事もあるので、確実にネット環境があるところで事前に電車などは調べてスクショしておくのと安心。また、モバイルバッテリーは必需品だと感じた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数3人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
蜘蛛やハエなどが多く、日本とは違った衛生環境に適應するのが難しかった。友達との共同生活自体はとても面白かった。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
ちょうどいい距離にサポートがあって安心だった。基本的には自由で、でも何か本当に困ったら日本語で助けを求められる場所が近くにあるというのは精神的にすごく安心。また私たちのプログラムは日本人が多すぎなくて、ちょうどよく他のクラスメイトとも話ができ日本人ばかりで固まるのが少なかったのがよかった。授業の席は日本人で固まらないように意識していた。
2) 課外プログラムについて
ハリーポッターのスタジオツアーに申し込んだ。ステイ先の近くからバスでそのまま連れて行ってもらえたのでとても楽しかったし、遠出だったけれどそこまで疲れずに済んだ。時間は足りなくてもっと長い時間いたかったと思いましたが、それ以外は大満足のツアーでした。学校のアクティビティには参加しなかった。長期で通っているクラスメイトに聞いてみても、一度だけ参加したことがある、もしくは参加したことないといった人が多かった。
3) 現地での生活に関すること
三週間という限られた時間のもあって、極力アクティブに動き回った。近くの観光地に授業終わりに行ったり、週末はロンドンへ行ってたり、とにかく時間を有効に使っていた。オックスフォードの観光地はほとんど回ったが、最後の一週間は暇になってしまったので体調さえよければもっとロンドンや他の場所にも行ってみたいと思う。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
語学学校だったため現地の人とはあまり関わりがなかった。しかしトルコやイタリア、韓国など様々な国から来たクラスメイトとたくさん話ができ楽しかった。みんな英語を勉強中なので詰まることもあったし、時々辞書を引っ張り出してきて会話することもあったがいい経験になったと感じる。お互いの国に旅行した時の話など、共通の話題が見つかることもあり楽しかった。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
なし

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
車が左側通行だったり、そこまで大声で話す人が少なかったり、日本と似ているなと感じたところも多かった。印象的だった異文化体験はすごくジョークが多いこと。先生も、たまたま観光地で写真を撮ってくれた人も、店員さんもナチュラルにジョークを言うので最初は予想外で聞き取れず戸惑った。初対面の人にも軽くジョークを言えるようなフランクさが面白いなと思った。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

3週間という限られた時間の中で、英語の勉強はもちろん、文化的な面でもたくさんの刺激を得て学んだことが多かったと感じます。研修のメインとなる学校生活では、国も言語も年齢も全く異なる人たちと毎日いろんな話をして、たくさん刺激を受けました。授業では話すことがメインで、もちろん全て英語でのコミュニケーションでしたが最初にテストでクラス分けがあったので英語力が同じくらいの人たちと一緒にやりやすかったです。また、友達との共同生活は手探りの部分も多かったのですが面白いこともたくさんありました。オックスフォードという都市は大学都市でありながら観光地でもあるので学生も観光客も多く、ロンドンと比べるとそこまで都市部でないながらも賑わっているところだと感じました。最後の週にはかなり生活に慣れて、離れるのが惜しかったです。今回の研修を終えて、第二外国語や趣味で学んでいる他の言語学習ももっと頑張りたいと思いました。また、日ごろからもっと社会問題にいろんな考えを巡らせておくべきだと感じました。そもそも日本語でうまく説明できないことを英語で語るのはとても難しく、自分の考えの浅さを実感することが多かったです。成功体験や嬉しかったこともたくさんあったし、反省点もたくさん見つかった三週間でした。この体験をこの先の生活に活かしていきたいと思います。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	LSI ポーツマス英語研修
------------	---------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	38000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5000 円	Amazon で sim を購入。
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩15 分)
教養娯楽費	36000 円	
被服費	0 円	
雑費	38000 円	
その他	35000 円	例: おみやげ
合計	150000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか**

現金の用意方法:
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください**

現金100ポンドとキャッシュパスポートを使用しました。現金はイギリスの電車はグループでの割引があったりするので、友達に渡すのに便利でした。

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。**

渡航前に、4週間で約80ギガの sim を Amazon で購入しました。sim を変えてもデータが消えることはなかったです。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか**

準備してよかったものは、たくさんのお菓子です。クラスメイトやホームステイ先で、かなり喜ばれました。準備したらよかったものは、使い捨てのお箸とサングラスです。日差しが思ったより強いです。夏でも厚手の長袖を持っていくことを強くお勧めします。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)**

なし あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?**

学校から教えてもらった、たびレジで確認できるようにしていました。危険なことに巻き込まれることはなかったのですが、帰り道、夜道が怖くて走っていたら知らない人に怒鳴られたので、どんなに急いでいても緊急事態ではない限り、歩いたほうがよさそうです。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。**

建物内に入ったり、電車に乗ると繋がりにくいことがありましたが、学校やホームステイ先では wifi があるので不自由なく使えました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
同じ研修先に来ていた大学生にも話を聞いたのですが、ホームステイ先の生活は多種多様です。帰る時間や週末の過ごし方、ご飯の有無は必ず伝えていました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
クラスメイトの年齢層は少し高めでした。特にヨーロッパ周辺の国からが多かったです。
2)課外プログラムについて
積極的に参加して、他のクラスの子と仲良くなれました。ビーチバレーは日本でもなかなかやる機会がないのでお勧めです。
3)現地での生活に関すること
湿度が低く、気温も暖かいので過ごしやすかったです。とはいえ、気候の変動は大きいので、長袖のアウターは持っていったほうが良いと思います。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
積極的に学校の課外プログラムに参加して、友達を作って一緒にロンドンに旅行に行きました。また、クラスの人とも仲良くなって、学校近くのおすすめのお店を教えてもらったり、一緒にご飯を食べに行きました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
授業時間前に教室にクラスメイトはほとんどいませんでした。私のクラスには私以外にも日本人がいたので、その人たちと私だけが時間を守っている感じでした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

知らない土地で知らない人と一緒に過ごすのはとても不安でしたが、どこに行ってもあたたかく受け入れてくれたので、充実した留学になりました。盗難や何かに巻き込まれることもなく生活できたことが今回の留学の楽しい思い出につながったと思います。授業も日本では学ばないような文法だったり、単語を学びました。先生方も授業を楽しく行えるような工夫を行っていてずっと楽しかったです。留学に迷っているなら、まず行ってみるといいと思います。自分が思っていることと違うことの方が多かったです。この報告書を見て、ポーツマスに行ってみたいと思ってくれたらうれしいです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	フィッシャーカレッジ 一般英語コース
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	95000 円	Cafeteria その他
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9778 円	
現地通学費	16900 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	2200 円	
雑費	0 円	
その他	200000 円	例: 博物館
合計	400000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港の両替場 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM SIM の差し替えなどの必要性がなく、日本で通常の SIM を使いながら設定を完了できた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
気候が意外と読めなかったので、服のレパートリーは多くしておいたほうが良い。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
バスや電車で寝ないようにした。先に留学していた友達に聞いた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題なし

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

とにかく話すことが大事。でも話が盛り上がってくると置いてきぼりにされてつらい。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

最初になれる分にはとてもよかったが、世の中のネイティブはもっと早く話すのでそれに慣れない。

2)課外プログラムについて

友達を作るにはもってこいだった。そこで作った友達とずっと遊んでいた。

3)現地での生活に関すること

町中のおいしが気になるときがある(すぐ慣れる)。比較的安全な町だった。気づいたらピザばかり食べている。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

特になし

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

特になし

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バスや電車の無賃乗車が当たり前になっているところがある。話に話を、そしてさらに話かぶせてくるので何言っているかわからない。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

授業は話している内容や勉強していることが決まっているので分かりやすく、心配する必要もないです。友達もみんな英語を勉強中の身なので、基本的に問題なく会話できるようになります。ただ、ヨーロッパからの留学生はものすごく話す上に速いし、こっちが返答に手間取っていると質問を変えたり二択で迫ってきたりと結構大変で、会話を楽しむレベルに達するにはかなりの時間を要します。また、英語が達者な UAE の方々の英語はアラビア語みたいで聞き取りにくいです。リスニング教材だけでなく海外ドラマなども活用して勉強するとよいと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	サイモンブレイザー大学
------------	-------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50500 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	33000 円	以前からレンタルしていたポータブル Wi-Fi の料金
現地通学費	16000 円	(研修先まで 45 分) コンパスカード2ゾーン定期
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	30000 円	例: 観光地
合計	131500 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 自分で貯めたお金と親からもらったお金
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードでの支払いがほとんどどこでも可能で現金はあまり必要ではない
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Global WiFi でポータブル WiFi を借りました。あまりかさばらず、通信速度も速いのでおすすめです。
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
酔い止めは遠目の観光地に行くときに乗り物酔いに弱い人にはおすすめです。インスタント麺やみそ汁はお腹が空いたときに非常に役に立つのでおすすめです。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
Web サイトやブログ、留学エージェントなどから情報を収集しました。盗難などの被害には遭いませんでした。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
用意したポータブル WiFi を使うか、学校、ホームステイ先の WiFi につなぐ。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

手配通りに食事を作ったり、家事をしていただく中で日本と違ったり、自分が好まないようなことがあったらはっきり伝えた方がいいです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

講師が一方的に生徒に話す時間よりもディスカッションやプレゼンテーションに費やす時間が多く、能動性が求められる授業形態は良いと思った。しかし、授業時間を短くするべきだと思いました。

2)課外プログラムについて

自分は課外プログラムには消極的でした。参加するかは人それぞれ、集団で動くのが好きかどうかやそのプログラムが自分にとって効果的か、その国を学ぶ上で必要かどうか金銭面なども相談しながら決めていけばいいと思います。

3)現地での生活に関すること

物価は驚くほど高く(日本の2倍以上)、頻繁に外食に行っているとすぐお金がなくなってしまいます。また、観光費用も馬鹿にならず入園料だけで4000円はかかります。
カナダでは電車やバスが時間通りに来ます。一つ注意が必要なのは、バスの時間が前倒しになる可能性があることです。
チップに関してはクレジットカードで払えば選択式でどれだけチップを払うのかを選べるので意外と心配はないです。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

特記事項になし

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

特記事項になし

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

チップ、助け合いの精神を持つ人が多い、自販機や電信柱が少ない(景観のため?)、車のブザーをよく鳴らす

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は以前何度か海外旅行には行ったことがありますが、一人で長期滞在は初めてで食事のことや異文化に適應できるかなどたくさん心配事がありました。しかし、カナダの人は本当にやさしく(バスで自分が降りようとしたとき、多くの人が自分の代わりに扉を開けるよう車掌に声をかけてくださいました)、なんとか乗り切ることができました。カナダは日本と技術面であり変わらず生活ができ、あまり不自由はしませんし、日本でもよく食べるマクドナルドや日本人が経営するラーメン屋などがたくさんあるので食に困ることもありません。だから、カナダは留学にもってこいの国だと感じました。

私はこういう経験を通して海外にもっと行ってみたいくなりました。自分の英語力の低さを実感したり、多文化主義とは何かも考える良いきっかけになりました。そういう経験は日本で机に向かっていても学べるのではなく、実体験しないと学ぶことはできないと思います。今後は英語の勉強をもっとしなければならぬと感じました。同じ授業を受けている友達の英語力だったり、実際に街に繰り出して店員との会話で内容を聞き照れなかったり、ホストファミリーに言いたいことを伝えられない経験から分かります。今後はいろいろな国に行って今回の経験を活かして様々なことを吸収していきたいです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	主にお昼代
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	3000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩 分)
教養娯楽費	60000 円	ツアー2回、演劇鑑賞、ラグビー鑑賞など
被服費	0 円	
雑費	1500 円	ドライヤーを現地で購入したため。
その他	15000 円	例:お土産、
合計	12000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか**
現金の用意方法: 3000 円程度
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください**
ほとんど現金を使わず、カードでの支払いでした。
ただ、マーケットでは現金のみのお店もあったため、少しは用意しておくべきだと思います。
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。**
Esim を利用しました。
オークランド乗り換えだったため、トランジェットの際もインターネットに接続でき、とても便利でした。
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか**
日本のドライヤーを変圧器を通して利用したのですが、結局変圧器が壊れてしまったため、現地でドライヤーを購入しました。変圧器を持っていくのではなく、海外対応ドライヤーもしくは現地でドライヤーを購入することをお勧めします。一番安いドライヤーで1500 円程でした。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)**
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?**
事前のオリエンテーション等で収集しました。
実際に巻き込まれることはありませんでしたが、友達の中にはお金を取られた人もいました。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。**
市内では接続がよかったのですが、はずれると繋がらない時がありました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
とても優しくフレンドリーな家庭でした。 どこの家庭でもシャワーの時間が制限されます。私の家庭は5分でした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
先生も生徒もとても優しくフレンドリーで、他国の人と英語で会話する機会がたくさんあります。間違えることを恐れず、英語を使って伝えたいという気持ちになりました。学ぶ環境が整えられていました。
2)課外プログラムについて
CCEL が主催しているツアーが週末に開催されていたため、参加しました。バスで行くため安心して観光することができました。
3)現地での生活に関すること
ニュージーランドは水道水を飲むことができます。 また交通機関はバスがほとんどのため、メトロカードを買うことをお勧めします。 メトロカードを利用すると、現金で払うよりも安く乗ることができます。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
授業中には、コミュニケーションをする機会がたくさんあります。毎日テーマに沿ってディスカッションを行うため、毎日交流することができます。私のクラスの場合、7カ国の異なる国籍の生徒がいたため、それぞれの国の文化の違いなどを学ぶことができました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
放課後、クラスの他国の人とクライストチャーチ内を観光しました。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
ニュージーランドの飲食店は、その日の店内の状況に合わせて閉店時間を前倒しすることがあります。私が実際に体験した例では、お店に入ると、今日は人がいないから1時間早く閉店をされると言われました。ネットに記載している情報と、実際の営業時間が異なるので注意が必要です。 日本にくらべて時間にルーズで、ゆったりとしていて、自然も雄大のため、日本とは違った生活をすることができました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>私は、このプログラムに参加して他国の文化を学ぶことが目的でした。私が通った C C E L は主にアジアの多くの学生がおり、授業や放課後の時間を通して、様々な国の文化を学ぶことができました。</p> <p>また、ニュージーランドは移民が多い国であるため、街中でもさまざまな国の人が見られます。実際に私のホストファミリーも、インド人とイングランド人でした。そのため、ニュージーランドの暮らしを体験しながらさまざまな国の文化について学ぶことができ、とても勉強になりました。</p> <p>また、移民ということもあり、英語を学ぶ人に対してとても優しい傾向があります。街中のスーパーやカフェ等で英語が聞き取れなかった際、簡単な英語に変えて、もう一度繰り返して話してくれる人がほとんどでした。ニュージーランドは、英語を学ぶことに適した環境であると思います。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,000 円	昼食、間食(朝食、夕食はホストマザーが作ってくださった)
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	12,000 円	NTTドコモの海外利用サービス
現地通学費	2,700 円	(研修先まで 60 分)、外ロバス
教養娯楽費	40,000 円	
被服費	0 円	
雑費	3,000 円	
その他	25,000 円	例:お土産
合計	132,700 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 銀行
その他用意したものの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
カード支払いが役に立った。どのお店もカード支払いが前提に会計が行われていた。
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
NTT ドコモによる「世界そのままギガ」を利用した。事前にサービスを予約するシステムであるため、ニュージーランドに到着した時点ですぐに利用することが出来て便利だった。また電話番号も日本で使用していたものをそのまま使うことが出来たため良かった。
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ホストマザーや留学を通して仲良くなった海外の人に渡すための日本のお土産は準備して行って良かった。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
研修先の初日オリエンテーションで付近の治安や防犯対策について知った。帰りが遅くなる時は、ホストマザーに安全に帰宅することが出来る最善の方法を伺ったり、ニュージーランドに長く住んでいる日本人から話を聞いたりした。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題はなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 <input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	2) 部屋の形態 <input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
--	---

3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
とても居心地のよいホームステイ先であった。ニュージーランドはペットを飼っている人の割合が多いように感じたため、もしペットが苦手な人は申し込みの時点でエージェントに伝えておくのと良いと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
英語のレベルによりクラス分けがされていたため、授業のレベルが適していてとても良かった。一方、留学に行った期間が日本の大学の夏休みであったため、CCEL の生徒の日本人の割合がとても高かった。そのため、CCEL にいるときも日本語が飛び交っていることが多く、英語を話す機会が少し減ってしまっているように思った。
2)課外プログラムについて
毎週木曜日にはスポーツアクティビティ、毎週金曜日にはカンパセーションクラスといったアクティビティが企画されており、ここではCCELに通っている生徒が集まるため、様々な英語のレベルの生徒と話すことが出来る良い機会となった。特にカンパセーションクラスでは文法などはあまり気にせず、テンポを大切に会話を行うというルールがあったため、自分の英語力の向上にとってもつながったと思う。
3)現地での生活に関すること
ニュージーランドはとても住みやすい街だと思った。クライストチャーチはたくさんメトロバスが広範囲で走っているため、交通の便では困ったことは特になかった。環境を大切にしている国であるため、ゴミの分別もしっかり行われており、道端などもきれいに保たれていた。プログラムを選択するにあたって、治安面や衛生面に重きを置くことが良いのではないかとと思う。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
CCELには全世界からの英語を学びに来ている生徒が集まっているため、いろいろな世界の人と仲良くなる事が出来た。特にクラスの人とは授業中だけでなく、休憩時間にも一緒にお菓子を食べながらお話しすることが多かったため、すぐに仲良くなる事が出来た。休日には仲良くなったクラスの人と観光地に行ったり、一緒に勉強したりした。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム外での交流は特になかった。バスの運転手や店員など気さくに優しく話してくれた人が多く、ニュージーランド人は親切な人が多いという印象を受けた。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
洗い物をするときに、食器についている食器用洗剤の泡を洗い流していなかった。ニュージーランド人の水をとても貴重に思う気持ちだが、洗い物の仕方の違いを生んでいるのだと思った。 また、バスのアナウンスがなかった。どこで降りるのかは位置情報アプリを使って常に確認する必要があるため、はじめの方は少し手こずることが多かった。さらに、バス下車時にはほとんどの人が運転手に向かって「Thank you」と言ってから降りていた。感謝を実際に言葉で伝えているこの文化はとても素敵だと思った。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>留学は英語力向上が目的であると考えられやすいが、今回の留学を通して、英語力の向上だけでなく異文化理解や生活力向上など多くの気づきや学びがあった。毎日新たな発見や学びがあったため、充実した日々を送ることが出来た。ニュージーランドに到着した日から2日間ほどは思ったことを英語で伝える難しさをとても実感し、上手く話すことが出来ない自分にとっても悔しかった。しかし、ホストマザーやクラスメイトが分かりやすくゆっくり話してくれたり、ジェスチャーを使って話してくれたりしたおかげで、会話することのハードルが下がり、自分から積極的にコミュニケーションをとることが出来るようになった。この体験から、日本に来ている留学生と話す時は分かりやすい言葉で表情やジェスチャーをつけて話すことを心がけようと思った。また、留学生に限らず、日本を訪れている外国人が困っていたら積極的に声をかけようと思った。</p> <p>少しでも留学に興味がある人は、留学でしか学ぶことが出来ないことがたくさんあるため、ぜひ挑戦することをお勧めしたい。留学は決して楽しいことばかりでないことはないですが、自分の成長につながることは間違いないです。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 35000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3983 円	
現地通学費	3150 円	(研修先まで バスで 25 分)
教養娯楽費	21951 円	アカロア旅行、ラグビー観戦
被服費	0 円	
雑費	約 16500 円	お土産
その他	0 円	例:
合計	80584 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか**

現金の用意方法: 空港にて換金
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください**

クレジットカード

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。**

携帯会社の海外ローミングを利用した。簡単な設定の変更だけで非常に楽だった。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか**

薬(季節が真逆であったため順応するまでに時間がかかり風邪をひいてしまった)

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)**

なし あり (問題の内容や相談した人等: バス停で現金を盗まれかけた。ホストファミリーと研修先の先生に相談した。)
 特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?**

Oh-o! Meiji の「渡航中の危機管理について」や体験記を読み情報収集した上で、貴重品(パスポートやスマートフォン)は紐をつけ首から下げるようにしていた。
 ホームステイ先に近いバス停で 30 歳前後の男性に「Can I exchange it for 4 dollars?」と言われキリの良いお金でもなかったため意味が分からず固まっていたら財布の中の小銭を鷲掴みにされ盗まれかけた。(バスに乗る際に必要なメロカードを財布の中に入れており、丁度バスが近づいてきていたため財布を取りだしていた)実際にはそのほとんどが日本の小銭であったためお金は返ってきたが、自分自身の危機管理能力が足りていなかったと反省している。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。**

自然が多い土地なので場所によっては圏外だった。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類	2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
ホストファミリーに2歳の子がいたこともあり、朝型の生活リズムであったため、夜も早くシャワーを浴び2歳の子を起こさないようドライヤーをかける必要があった。最初にホストファミリーと細かく家のルールを確認した方が良いと思う。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
お互いの国の食・自然・挨拶・交通事情についてディスカッションをする授業もあったため、英語の勉強だけでなく異文化を知ることや多国籍の人と仲良くなることができ、非常に良かった。また、最初に英語4技能のテストがありその結果に応じたクラス分けであったため自分の英語力にあった授業内容であった。日本人の留学生が多いため仕方ないことではあるが、他のクラスではクラス全員が日本人というところもあり、それだと留学に来ている意味があまりない点が良くない点だと思う。
2)課外プログラムについて
週末に学校から紹介された「Akaroa Day Trip」に参加したが、日本では見ることのできない景色を存分に味わうことができ貴重な経験だった。195\$と簡単に払える金額ではなかったためホストファミリーに相場を聞き、かなりお得だと分かったため参加を決めた。
3)現地での生活に関すること
疑問点や悩み事があったら何でもホストファミリーや友達、先生に相談してみることが重要だと感じた。現地の金銭感覚や交通事情、ホームステイにおけるルールなどは実際に行ってからでないと分からないことも多いので、なんでもコミュニケーションをとろうとする努力を怠らないことが重要だと思う。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
クラスメイトとは授業内のディスカッションや毎週金曜の最後の授業で行われる farewell party などでコミュニケーションをとり、互いのことや異国の文化をよく知ることで非常に仲良くなれた。帰国前最後の授業日にはクラスメイトから名前入りのチェーンをプレゼントされるほど親しくなれた。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム内で交流を深めた台湾出身の生徒の farewell party にて仲良くなった日本人留学生の紹介で、中国人留学生と知り合った。その中国人留学生が国際免許を取得していたため休日は車を出し、私をクライストチャーチの様々な観光地に連れていってくれた。現在でも SNS が繋がっており定期的にやりとりしている。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
日本に比べ、環境に配慮した商品や行動が多くみられたことが印象的であった。普段のホストファミリーの様子や街の至る所から自然と共生しながら生活している様子を確認できた。例えばホームステイ先では日本よりも細かいゴミの分別方法や水の無駄遣いを防ぐ工夫を知ることができ、スーパーマーケットでは環境配慮を主張した洗剤やスナックを発見した。日本も見習うべき環境配慮型行動や文化が多くあると感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>私は CCEL クライストチャーチ英語研修プログラム全体を振り返ると、非常に充実していたと感じています。3週間という非常に短い留学期間であったため、限られた時間を最大限に活用するために細かく計画を立てたことが、プログラムを充実させた要因だと思います。今後短期留学を予定している学生には、現地でホストファミリーや学校の先生から情報を収集し、訪れるべき場所を計画的に巡ることをお勧めします。</p> <p>また、ニュージーランドの国民性や風土も影響しているかもしれませんが、CCEL には寛容でおおらかな性格の生徒が多く自分の性格とも合っていたため非常に過ごしやすかったです。のんびり生活したい方、大自然を全身で味わいたい方はクライストチャーチがおすすめです。</p> <p>正直3週間で英語のスキルがどのくらい上がったのか正確には分かりませんが、リスニング能力が上がったことは実感できます。よって短期間でも英語に耳慣れることはできたのでこれからも英語の勉強を続けていくことでこの英語研修を実のあるものであったといえるようになります。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL Christchurch 英語研修
------------	------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	51,049 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3,811 円	e-sim
現地通学費	3,623 円	(研修先まで 約 20 分)
教養娯楽費	46,663 円	ツアーなど主に休日の娯楽費
被服費	2,774 円	
雑費	16,606 円	お土産等
その他	174,632 円	航空券、NZ と AUS の ETA、保険料
合計	299,158 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードのタッチ決済
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
e-sim。購入や準備が簡単で接続もよかった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
乾燥と日差しが強いため、化粧水・乳液・パック・サングラスは持って行ってよかった。 割り箸・カップラーメンやパックご飯などの日本食は持っていけばよかったと後悔した。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーや事前のオリエンテーションなどを通じ収集した。対策としては、夜遅くに 1 人でバスを乗らない、街を歩かないことを心がけた。犯罪には巻き込まれなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
学校は接続されなかったが、それ以外の場所ではよかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

自由で元気でとても優しいファミリーだった。特にルールはなかったが、シャワーを短時間で済ますことや作ってもらったご飯を完食するなどの常識的な行動をするよう心がけていた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

クラスがカンパセーションメインで、日本ではなかなか身に付けられないリスニングやスピーキングを楽しく学べてよかった。また、それと同時にクラスにはさまざま国の人がいたため、ニュージーランドや他国の文化を学べてよかった。ホームステイ先では、ニュージーランドの食文化や暮らし方をたくさん学べた。

2)課外プログラムについて

課外活動を通じ、他のクラスの子とも交流ができてよかった。ツアーは金額と内容ともに満足した。

3)現地での生活に関すること

自然豊かでのびのびしていて、非常に暮らしやすかった。人もフレンドリーで優しかった。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

ホストファミリーの知り合いや家族、ファミリーの家で暮らす学生と交流があった。マザーが空手の先生であったため、空手の道場で現地学生と話せた。また、ホストファミリーとマザーの両親と一緒にご飯を食べた。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

特になし。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

夜ご飯はお肉がメイン料理であることが多かった。ポテトチップスやアイスクリームを日本人よりも食べる印象を持った。また、アイスクリームやチョコレートは日本よりも甘かった。バスを降りる際、皆運転手に Thank you という文化があった。また、バス停などで話しかけてもらうことも多かった。日々の生活や授業を通し、助け合いや多様性を尊重する文化を日本よりも感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

2点アドバイスがあります。

1点目は恥ずかしがらず自分らしくいることです。留学で様々な国の人と話すことで、私は違う価値観や文化をたくさん学べ、自分の視野を広げられました。特に印象に残ったことは、他の国の方々皆が私よりも自分の意見をきちんと述べていたことです。それを見て、これからは恥ずかしがらずもっと個性を出して生きていこうと思いました。

2点目はなるべく現地の文化に適應することです。行く国のことを学ぶには、特徴的な食べ物や雰囲気を楽しむなど、なるべく現地の文化を受け入れることが大切だと感じたので、是非少し苦手だと感じるがあってもそれを楽しんでみてください。